



読字 原田 鏡

No. 821

2017/ 2/15

日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西神田1-1-8072ビル

日中友好協会
岡山支部

〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部

〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



第3回中国百科検定

申し込み締め切りまで残り1週間!

中国百科検定申し込み締め切りの2月20日(月)が迫っています。

今のところ、岡山9人、全国では303人(2月10日現在)が申し込んでいます。

岡山でも、受験のよびかけを、理事中心に頑張っています。

す。中国語の講座を持つ高校、専門学校、大学の教師26人に受験案内を出しています

が、今のところ応募はありません。しかし、2人の学生と思われる女性が第1回対策講座に申し込んできました。結果は、急用で欠席との連絡が

あり、残念でしたが、受験への誘いをあらためて行い、問題集をやれば大丈夫と、励ましました。受験を期待しています。3級受験者をもっと増やしたいと思います。



第2回対策講座は、問題集の問題を、数人の理事で解説します

百科検定第2回対策講座

とき・2月26日(日)10時から12時まで

ところ・岡山市 岡西公民館 (086-253-7581)

日中友好協会岡山・倉敷支部の、2,3級合格者の理事数名がチューターを務めます。2,3級試験合格に直結する講座になる予定です。

中国百科検定問題集」を使いながら、地理(地理、民族・宗教、世界遺産)政治経済(政治と法、経済と産業)歴史(古代文明・近現代史)文

化・芸術・風俗習慣(言語・文学、映画、食文化、文化・スポーツ・風俗習慣)の全4分野の問題を取り上げます。

※ 参加希望者は、

日中友好協会岡山支部
の小林軍治 (TEL
086-277-2470 携帯
090-8240-2001) まで連絡ください。

※ 受講希望者は、「中国百科検定問題集」を持って参加してください。

※ 問題集は、「岡山平和書房」(TEL & FAX 086-250-7311)で購入できます。

※ 予告

第3回対策講座は

大飼 繁氏による宋代から近現代にわたる歴史を前回は続けて行います。3月上旬になります。日時、場所などは、次号の新聞でお知らせします。

第1回「孟子」を読む

梁恵王篇 (上)

弓田 盛樹

「孟子」は梁という国の恵王とのやり取りから始まります。当時の中国は戦乱の世で、どの国も自国をより強く大きく発展させる施策を模索していました。孟子を目の前にして恵王は、優れた富国強兵策を説いてくれるに違いないと考えていましたが、孟子は「王様。どうしてそのように利益と言われるのですか。大切なのは仁義しかありません」と毅然と道徳主義を表明しました。

現代では、孟子の考える仁義とは、「親を愛すること」「君子を重んずること」など保守的に理解されがちです。しかし、それは仁義の一部でしかありません。

「孟子」全体から考えると、仁とは慈しみ親しむことを意味します。そして、義とは条理・道理を意味しており、自律のことです。この二つが組み合わされたのが仁義であり、王も民も互いに敬意をもって接することが仁義の根幹です。

注意しないといけないのは、孟子は民を敬えと言っても、民に仕えろとは言っていない点です。一方、キリスト教では、「人の上に立ちたいなら、仕える者になりなさい」と説かれるように民に奉仕する良い牧者としての王が理想化されます。

王は政治を行う上で民衆生活の安定を何よりも優先して考えないといけない。しかし、王と民の間には決して越えられない境界が敷かれています。だからこそ、王は王らしく毅然と振る舞っていなければいけないのであり、自身の徳性を高めるように常に努力していないといけない。これが孟子の考える王のあり方です。反対に、民は民らしく君子に仕えないといけないということになります。

しかし、その関係は、お互いに敬い合うことができこそ。王は絶大な権力を持っており、武力を持って従わすこともできます。しかし、それをしないのは双方の信頼関係を崩してしまうことになりかねないからです。

孟子は一見すると、非常に民主的で弱者の味方であるように見えます。しかし、深いところでは王と民衆の力の均衡を捉えています。均衡が崩れたら戦乱です。その絶妙なせめぎ合いを道徳によってコントロールすることを述べています。

つづく

百聞は一見に如かず

— 中国の原点・古代世界史を河南省で見聞 —

私は6度目の中国訪問でしたが、うち4回は現在の農業経済に関する学術的な訪問で、大学、試験場、省政府や農村に出かけたもので、史跡や観光地巡りは2回目です。

河南省は初めてであり、古代の中国を彷彿とさせる世界文化遺産が集中して存在している洛陽、鄭州、開封を短期間に密度高く、凝縮して見聞することができ、消化不良の面も残しながらも満足感・満腹感に満ち溢れ、帰国後も反芻しながら、思い起こしています。関連文献を読み、写真を眺める日々です。中国百科検定試験の挑戦に意欲の湧いてくる旅でした。驚きの連続でしたが、一番感銘を覚えたのは、中流域の黄河との出会いでした。鄭州市でホバークラフトに乗り、黄



河の中州に降り立ち、黄河に架かる橋を見渡しても他方の先端が見えません。もともと、濃霧の影響で視界が利かなくなつたことが大きい要因ですが、川幅7.3キロ、橋が約8キロ

近いものであり、対岸が見えないほどの広さを実感しました。ガイドブックには最大の川幅が25キロのところがあるといるのもうなずけます。150回も川の流れを変えて、氾濫を繰り返して、土砂を堆積し、また、都市、村を押し流してきた歴史、3年に1回洪水が黄河のどこかで発生したという歴史、また、河を治めるものが人を治め、国を治める」と言い伝えられてきた由来が、実際に中洲に降り立ち、見聞することによつて、よく理解できました。巨大な治水土木技術が必要であり、巨大な財政基盤と国家権力が備わっていないと統治できない構造、仕組みがよく理解できます。56の多民族国家であるとともに中国を特徴づける歴史風土が見逃せません。

第二の驚きは、中国最大級の博物館と言われる洛陽博物館の見学でした。4000年の長大な文明の歴史のうち紀元前2000年間と古代王朝



第三の驚きは、連なる岩山を掘り抜き、削り取り、大小さまざまな石の仏像3万体を擁する龍門石窟の壮大さと400年以上にわたる意志の力強い継続性に感服するのみでした。柔和な盧舎那仏像の前で記念写真を撮りましたが、仏の御手に抱かれるような安らぎを覚えました。

また、1500体の仏像をびつしりと刻んだ石窟にも圧倒されました。その土産物店に立ち寄つたところ、旅行ガイド・通訳の徐晟さんが分厚い龍門石窟の解説書の執筆者の一人であることが分かりました。実に詳しく丁寧に説明してくださつたのは、龍門石窟や古代史の専門家であり研究者でもあつたからです。見事な日本語で説明していただき、感激ひとしおでした。

第四の驚きは、やはり世界文化遺産に指定されている少林寺の古い建物と山裾にある巨大な少林寺拳法の学校の巨大さでした。全寮制で最大規模3万2千人の児童生徒と教職員を擁する学校が立ち並び、何千人規模の学校もさらに続いて存在し、全国から集まつた精鋭が修練、鍛錬を積み上げている様子は、別天地さながらでした。朝6時前から鍛錬している掛け声がこだまし、活動する聖地の様相を呈していました。なんとこの人力・底力を持つていることかと、感嘆してシップ菓を土産

しかも、無料開放・展示されてはいますが、中国国家の並々ならぬ発掘・保存・記録・展示の強い意志と計画性が読み取れました。展示物の保護や説明の仕方、配置の方法など工夫が必要ですが、将来を見据えた荒削りの骨太さ、度量の大きさが伝わってきました。悠久の歴史を記録し、刻みつける試みに脱帽するのみです。

欧陽蕾蕾老師の送別会!

2月4日の土曜日、中国語講座土曜日クラスの欧陽蕾蕾老師の送別会を開きました。場所は奥田本町にある中華料理の店“大蓮香”です。当日参加者は受講生の4人と老師とお子さんのセグンちゃんでした。

2年前の4月から講師を務めていただいたのですが、その時にはもうお子さんがいらつしやつたのです。お子さんを育てながら、岡山大学の大学院で学ぶという大変パワフルなお嬢さんでした。もちろんご主人のサポートがあり、講座の日にはご主人が車で岡輝公民館に送つてくれます。でも

今ではご主人は中国で働き、彼女が車を運転して一人で子育てをしています。

この3月で大学を卒業し、岡山で就職が決まりました。そのため、中国語の講師を次の老師に譲ることになりました。

2年間ありがとうございました。老師の若い感性と、私たちのつたない中国語で、中国の生活習慣など多くのことを学ばせていただきました。本当に名残惜しいですが、またお会いしましょう。夏にはビアガーデンでも一緒にしましょう。再見!

真田

に買いました。

最後に、洛陽市の国際友好交流センターの蒋主任をはじめ中日友好協会、洛陽市の迎賓館ホテルの皆さんにも温かく歓迎していただき、相互の理解と友好関係を深めることができましたことは、本当に良かったです。今回は中国語の基礎だけでも勉強して、もう一度訪問したいと思いましたが、

日中友好協会倉敷支部

水彩画

宇野 忠義
秋山 啓子



次回の新聞送付作業は
2月21日(火)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

小林田和
石小曾竹内
竹内漏井
竹太坪